



医師



◆◆◆◆◆ 循環器科について ◆◆◆◆◆

循環器科部長 天野 哲也

平成17年7月に中部ろうさい病院へ赴任いたしました循環器科の天野哲也と申します。早いものでもう2年が過ぎました。ここ数年当循環器科では診療に関して当院独自の特色を確立してまいりましたので、ご紹介いたします。

循環器科では虚血性心疾患の診断、治療を中心として地域中核病院としてあらゆる循環器疾患に対応しています。現在、わが国における3大死因のひとつである虚血性心疾患(心筋梗塞、狭心症)は、生活スタイルの欧米化とともに増加しており社会的にも問題となっております。虚血性心疾患の治療としては心臓カテーテルを用いた、経皮的冠動脈形成術(PCI)が一般的ですが、当院においても順調に症例数が増加しており、特にPCIに関しては平成17年の200件より平成18年には277件、昨年平成18年には376件(patient base)となっております。またカテーテル治療による大きな合併症は皆無であり、みなさんに安心して受けていただける治療のひとつとして発展しています。通常虚血性心疾患は何らかの胸部症状で発見されますが、糖尿病患者さんではこうした症状(注意信号)がない場合も多く、発見されたときにはPCIも手術も出来なくなっている場合があります、大変

深刻な問題です。当院ではこうした状況を打開すべく64列MDCTと呼ばれる最新式のCTを導入しており、日帰りでしかも検査時間も20~30分と患者さんに優しく、早期に虚血性心疾患を診断することが出来ます。また当院におけるMDCTの正誤率は90%(陽性診断率83%、陰性診断率98%)であり、文献などと比較してもなんら遜色のない成績であります。このように当院においては虚血性心疾患を発症してしまった場合の治療も充実しており、さらに虚血性心疾患をなるべく早い段階で診断することも可能です。早くみつかればお薬で治療できる場合も少なくなく、以下に示す危険因子を2つ以上保有している患者さんは是非我々循環器科を受診していただくことをお勧めします。

1. 肥満
2. 高血圧
3. 糖尿病
4. 脂質代謝異常症(コレステロール、中性脂肪が高い)
5. 喫煙者

また不整脈に関しても、専門家を招いて最新のカテーテルアブレーション治療を実施しており、弁膜症、心筋症などあらゆる心臓病に最新の設備と治療技術をもって対応しております。

何よりも安全で適確な診療をめざし地域医療に貢献したいと思っております。

★「フィリア・レター」は、「中部ろうさい」病院が、患者さまに向けて当院の現況や新しい医療情報などを発信したり、患者さまの建設的な意見を反映する広場として発行しています。